

2008年4月入職

さいとうくみこ
齊藤久美子

みなさまの笑顔が、私のモチベーション

保育の道から、福祉の道へ

私はケアワーカーになる以前、障害児の保育に携わっていました。そんなある日、子どもたちと接しているときにふと思ったのが、「この子たちが高齢になったとき、一体どんな生活を送っているのだろうか」ということ。それが福祉に興味を持つようになったきっかけです。そこからケアの内容やクリニックの環境について調べるようになり、少しずつ福祉の道に惹かれていきました。保育の仕事も自分には向いていたと思いますし、新しい業界にチャレンジすることに多少の不安もありましたが、前々から自分の中に「いろいろな知識やスキルを身に付けたい」という想いがありました。動き出すなら今しかない。そう思い、ケアワーカーとして歩いていくことを心に決めました。

ご利用者さまから助けられています



いかにして、ご利用者さまに笑っていただくか。私は常にそれを意識しています。笑うという行為は腹式呼吸につながって体にいいという説もありますし、何よりも場の雰囲気明るくなる。だから、会話の中で冗談を言うこともよくありますよ。ときにはレクリエーションの際にも予定していたゲームそっちのけで、場を盛り上げることもあるくらいですから。なぜここまで笑っていただくことを意識しているのだろうと思ったとき、「笑顔から元気をもらえるから」という考えに

たりました。それが仕事へのモチベーションと言っても決して大げさではありません。

元気をいただけること以外にも、ご利用者さまに助けていただいていることはたくさんありますね。人生相談に乗ってもらうこともよくあって、娘の反抗期で悩んでいたときも、「黙って聞いてあげることが大切だよ」や「まわりの子どもと比べるとなく、自分の子どもだけを可愛がってあげれば大丈夫」など、いろいろな言葉をかけてもらいました。何気ない言葉にもすごく重みがあって、人生の先輩としての偉大さを日々の中で感じています。



元気な笑顔で接する
信頼されるケアワーカー
めざします。

齊藤久美子